

営農だより

今からでも
遅くはありません!!
来年の米の収量・品質の
決め手は、この秋の
土づくりから!!

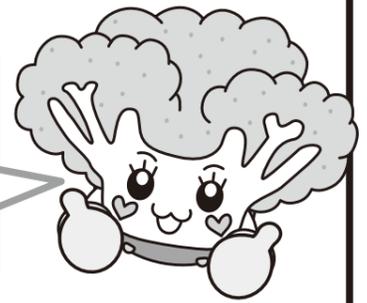


農業の基本は土づくりから! 収量確保のためにも土づくりに取り組みましょう!

水田における土づくりの必要性

近年、気象変動が激しくなっている中、水稻生産者の皆様から「収量が毎年安定して獲れない」といった声や、地力の低下などから「昔より収量が落ちてきた」等の声をお聞きするようになりました。一方、米価下落の中、土づくり散布率が低下しているのも事実です。

土づくり資材の投入をやめることで短期的な経費削減には繋がりますが、長期的には土地生産力の低下を招き、農業経営における最大の資本としての圃場生産価値そのものが、容易に取り戻せない形で失われていきます。
米価下落している今こそ、収量・品質向上のため、**土づくり**が必要です!!



水稻土づくり資材散布実績

地区	散布率 (%)		
	H30年度実績	R1年度実績	R2年度実績
加賀	14.6%	16.9%	18.7%
小松	42.1%	46.6%	46.2%
根上	9.0%	18.9%	23.1%
能美	62.1%	62.8%	65.3%
白山	25.8%	32.9%	39.2%
松任	39.9%	43.8%	46.1%

データ提供: JA全農いしかわ

JA加賀の土づくり資材の散布率は年々増加傾向にありますが、他JAと比較すると散布率は著しく低い傾向にあります。



JA加賀 土づくり資材 オススメ商品

BB加賀土元気

加賀市の土壌で不足しているリン酸・ケイ酸を配合したJA加賀オリジナル肥料!
※吸収利用率の高いケイ酸を使用

保証成分			
リン酸	ケイ酸	苦土	アルカリ
14	21	9	44

【施用量】100kg/10a(5袋)
【特別対策助成】400円/袋

ようりん

リン酸は、く溶性で流亡・流脱が少なく、肥効の持続が高い肥料!

保証成分			
リン酸	ケイ酸	苦土	アルカリ
20	20	12	45

【施用量】100kg/10a(5袋)
【特別対策助成】350円/袋

BBかがやき土アップ

ケイ酸を多く配合したJA加賀オリジナル肥料!
しかも低コスト肥料です!
※吸収利用率の高いケイ酸を使用

保証成分				
リン酸	ケイ酸	苦土	アルカリ	マンガン
5	24	4	42	1

【施用量】100kg/10a(5袋)
【特別対策助成】250円/袋

BBひやくまん馬力

吸収利用率の高いケイ酸原料を使用!丈夫な稲体づくりに必要な微量要素もバランス良く配合された低コスト肥料です!

保証成分				
リン酸	ケイ酸	苦土	アルカリ	マンガン
2	20	4	26	0.3

●ほう素 0.05 ●銅 0.006 ●硫黄 微量
●鉄 2.4 ●亜鉛 0.015
【施用量】100kg/10a(5袋)
【特別対策助成】250円/袋

「秋の土づくり」は収量・品質向上に向けた大事な作業

来年の稲づくりは、この秋の土づくりから!

土づくりで大事な3つのポイント



10月中旬までに耕起！！

微生物の活動が活発なうちに稲わらを鋤き込むことで、土壌中の腐熟が促進！
翌年の生育安定に効果！（気温が低いと微生物の活動量が減少）

稲わらをすき込むことにより、ケイ酸などの養分だけでなく、豊富な有機物を補給することができ、**地力の素となる腐食**に分解されます。

稲わらのすき込みは、微生物が活発に動ける**気温の高い10月中旬まで**に行いましょう。
早ければ早いほど効果が期待できます。

稲わらをすき込む際に**土づくり資材と併用**することで更なる効果が得られます。

稲わらは土壌中ですき込まれ腐食となり、稲に必要な養分の供給源となります。



耕起と併せて土づくり資材を投入！！

水稲では特にケイ酸が大量に吸収されます。
強い稲・品質向上のために土づくり資材でしっかりとケイ酸を補給！！

稲が健全な生育をするには、根の伸長促進により養分吸収の増大を図ることが基本です。
水田土壌で特に不足するリン酸、ケイ酸を含んだ土づくり資材の散布が生産、品質安定に欠かせません。ケイ酸は稲の骨格を作る重要な養分で、**足りていない圃場ほど、施用による増収効果が期待できます。**



耕起の深さは15cm以上&ゆっくり！！

作土が浅いと根の伸長が阻害！「ゆっくり深い」耕起を！

作土を拡大し根域を拡大させ稲体の活力を高めるため
深耕を行いましょう。**深耕の目標は15cm**です。

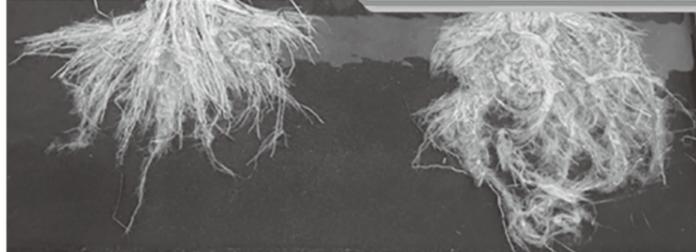
右の写真は、低速耕起区（約3分/40m）と慣行速度耕起区（約2分/40m）とで根を比較した結果。

同じ耕起速度でも、春耕起に加え
秋耕起を実施した場合も耕深が
確保しやすくなります。



高速耕起区

低速耕起区



低速耕起区は、深耕となり、
長く細かい根が多く出ている。

土づくりを 実施している 生産者の声



土づくりをすることで稲の受光態勢も良く、収穫時まで葉が青々としており、収穫ギリギリまでしっかりと**光合成**ができています。そのため、収量が多いのはもちろん、品質も良く、**毎年1等**です。

土づくりは農業の基本です。
「加賀の米」のブランド力を維持していくためにも土づくりは必須と考えています。

秋落ちする田んぼには鉄やマンガンが効果的ということで**ひやくまん馬力を勤められ**散布を続けたところ、毎年悩まされた**根腐れが解消**されました。

米は地力で穫るものとよく言います。土づくりなしでは米は穫れません。土づくりは経費がかかりますが、それ以上に**収量としての成果**があるので収量の確保のためにも必ず実施しています。